

## 第12回 市民フリースピーチ制度 協議結果一覧

1	男性	<p>教育人事の公正化のために</p> <p>教育人事の承認を含めた人事は市町村教育委員会、すなわち教育長の内申が大きな役割を果たしている。しかし、その教育長は犬山市を含めた丹葉地区すべてが愛知教育大学出身の退職校長で占められている。 これらの人の選任に同意を与えたのは議員である。自治体の最高議決機関としてこのような履歴の人を教育長に任命することが果たして適当だったのか。 市長が推薦した人物が学閥優遇人事を正していくことができる人物かどうかをよくよく調べてほしい。</p> <p><b>【対応】</b> 民生文教委員会で協議する。</p> <p><b>【対応先での協議結果】</b> 市議会として教育長の人事案件において出身大学だけで同意を判断したことはありません。 教育長として相応しいかどうかは総合的に判断をしています。</p>
2	男性	<p>国宝犬山城・国宝如庵二例の検定制度の創設について</p> <p>国宝犬山城と国宝如庵の(仮称)二例の検定制度の創設をしたらどうか。 犬山城は、年輪年代法により名実ともに日本最古の城と位置づけられ検定制度創設の意義は高く、茶室如庵は、千代田区の地名由来でも紹介され織田有楽斎から名づけられており存在価値の高い茶室であり、ともに検定制度創設の意義は高いと考える。 検定制度のメリットは、まず第一に犬山の文化をPRできる、検定合格者に金バッチを贈呈し達成感・満足感を味わってもらえる、犬山への観光客の増加などが考えられる。 犬山市長がフェイスブックで世界遺産登録に向けて発信されているが、この提案はそれに合致する。</p> <p><b>【対応】</b> 畑議員が事業の実施を希望する団体との橋渡しを担当する。</p> <p><b>【対応先協議結果】</b> 令和4年1月31日に発言者と希望団体との打ち合わせを行えるよう調整をしました。</p>